

教育相談室のご案内

～お気軽にご相談ください～

昭島市教育相談室

教育相談室では学校生活や、お子様の成長過程で生じる、さまざまな問題や悩みについて、本人や保護者からのご相談を受けております。

対象は市内在住の幼児・小学生・中学生・高校生年齢相当の方です。

臨床心理士・社会福祉士・精神保健福祉士・教員の経験者・警察官OBが内容に合わせて相談に応じます。

人には多くの悩みや心配ごとがあります。例えば、

- 学校に行きたくない
 - 友達とうまく遊ぶことができない
 - いじめの疑いがある
 - 何となく落ち着きがなくなっている
 - 集団で行動することが苦手である
 - 成長の様子で気になることがある
 - 進路のことで悩んでいて落ち着かない
- などがあげられます。

相談内容の秘密は厳守します。また、費用は無料です。

なお、直接面談を希望される場合は予約制となっておりますので電話でご確認ください。

▽場所

昭和田町1-6-11
昭和田町分室2F

☎5414445

なお、いじめのご相談は
いじめ相談ホットライン

☎5437633

▽受付時間

月曜日～金曜日

(年末年始・祝日を除く)

午前9時～午後4時30分

なお、各市立小中学校には、週に1日スクール・カウンセラー(臨床心理士)が配置されており、学校生活や教育等に関する相談を行っています。勤務日や相談までの受付方法は各学校にお問い合わせください。



食育シンポジウム

1月21日に、市役所市民ホールで、市民の方や学校関係者など、約90人が参加し食育シンポジウムが開催されました。

今回で5回目を迎え、テーマを「日本型食生活と魚」とし、第一部の基調講演では、女子栄養大学鈴木平光教授から、魚に固有のDHA、EPAが子ども達の発育や中高年者の認知症・生活習慣病の予防・治療に大きな効果があることが報告されました。

第二部は、二つの小学校からの実践報告がありました。

つつじが丘南小学校からは、「みんなで歌おう!えいよう満点ソング」についての報告がありました。

栄養に関する知識を栄養士が作詞、音楽科教諭が作曲した「えいよう満点ソング」という歌によって、低学年でも楽しく理解しやすくなったもので、1年生もすぐに皆で歌えるようになったことを、映像を交えて学校栄養士から報告されました。

拜島第一小学校からは給食委員の児童達から魚の食べ方指導について報告がありました。

給食委員が、学校栄養士から学んだ「さなまの解体ショー」を給食の時間を利用

して低学年の児童の前で実演し、さんまの骨と身の分け方などの方法を指導するというものです。このことにより、さんまが上手に食べられるようになっただけではなく、魚に興味を持ち、食べ残しが減ったことなどの報告がありました。自信に溢れた子ども達の姿勢に参加者から大きな拍手が贈られました。

近年、食ベにくいか調理に手間がかかることなどから家庭での魚の消費量が減っているといわれています。

日本は豊かな海の恩恵を受け、多彩な魚食文化が発展しています。

子ども達が魚食の魅力を知り、食べ物を大切にする心が育めるよう、今後も取り組みを行っていきます。



〈拜島一小の給食委員の皆さん〉